

さくらだより

広報

6月号 No.70

平成30年5月発行

皆様こんにちは！反省モードでさくらだよりを書き出したため少しネガティブな話になりそうな編集長の細江です。なぜ反省モードなのか…それはなかなか今月号に取り掛からない私にしびれを切らしたゴーストライターが裏面を作り上げてくれました(*´▽`*) が、私は本当にそれでいいのか？約束を守れない人になってない？と反省モードなワケなのです。

反省と言えば先日世間を騒がせた〇〇大学のお偉い様方。まだまだ若いこれから先のある加害者の学生が本当の意味で謝罪するためには顔も名前も出して謝りたいと勇気を出してメディアに出て反省しているのに、本来手本になるべき年長者たちの会見はネットで叩かれる始末。私も人の上に立つ身なので他人事ではありません。「人の振り見て我が振り直せ」と言う気持ちにさせられる一件でした。

社長のつぶやき

「善因善果」よいタネをまけば、必ずよい芽が出る
「悪因悪果」悪いタネをまけば、必ず悪い芽が出る
「自因自果」自分の行いは、自分の結果となって返ってくる

最近感じるのは“すべて自分に返ってくる”ということ。
良い事も悪い事も自分がしたことは少し形を変えて戻ってくる。
誰かに優しく手を差し伸べたら別の人に優しく助けて貰えたり、
誰かに意地悪をしたら別の人から意地悪される。
食べ過ぎたら太る（これはちょっと違うね…苦笑）
このスパイラルに気付くと比較的簡単に考えを改めたり、反省したり、
間違ってたなかつた安堵したりすることができるから超楽になる(*^-^*)
しかもこれ、他人の事は見ていてとても分かりやすい。
未熟な自分を棚に上げて他人を評価するなんて間違ってると思うんだけど、
会社を辞める時の立ち振る舞いだけはとっても大事!!と声を大にして言いたい！
今まで何人も退職する人を見送ってきたけど、辞め方が綺麗な人は仕事もできるし、どこへ行っても活躍してる。逆に感情に任せて辞めてしまった人はどこへ行っても感情的になることを抑えられず同じ苦労をする。目の前にある壁を越えずに逃げたって、壁はずっと立ちはだかってるんだよ〜。
まァこれは簡単に会社を辞められない私の愚痴ですが、辞めていく社員に対して「次の会社で活躍してほしい」と送り出したいのも本音なんです。
先日、離職率を出してみました。私の鬼専務時代は**36%**もあってビックリ(ﾟдﾟ)！したけど、今期は**7%**まで下がってました。退職者名簿の中には短期間で入退職した顔も思い出せない人もいますが、でも「この人元気かな？会いたいな〜」と思う人も当然います。
この離職率は私の行動の結果。私の評価に値するんですよ。会社をよくしたいと強く思い過ぎて人を大切にしなかった（いや大切に思っていたけど伝え方を知らなかっただけ）鉄の女時代、かなりの辛口評価を得ていたんだなと反省しています。
今も考え方は変わってないけど、でも伝え方が少し上手になって余裕もできた高評価の**離職率7%**。
あぁ、ホント神様はちゃんと見てるのね!!と恥ずかしくなりました(´_ゝ´)
この結果を肝に銘じて離職率ゼロ目指していきます!!



～「伝わるように伝える」って難しい～

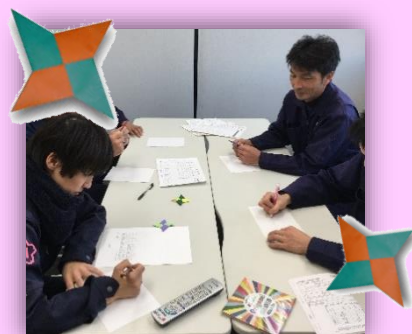
先日、母と「言ったじゃん!!」「聞いてないよ!!」スパイラルに陥り、どちらに非があるのか決着がつくまでどちらも引かない構えでした。最終的には当初の問題すら何だったのか忘れてしまい、昔の失敗談や恨みを持ち出す醜い争いにまで発展してしまいました。が、親子間でのこの争いは30分もすれば一緒にTVを観て笑ってられますが、これが職場だと大きなシコリを残したり、ずるずると引きずり関係の修復が不可能になるきっかけにもなり兼ねません。

そんな「言った言わない」「聞いた聞いてない」問題を起こさないためにもコミュニケーション能力を高める「手裏剣ゲーム」をご紹介します。

「伝える」と「伝わる」の違いを体感できる簡単だけど有効なゲームです。是非お試しください♪

準備するもの

- ① 3～5人で1チームを作る
- ② リーダー1人/1チームを決める
- ③ リーダー以外の人に色違いの折り紙1枚ずつ(計2枚)用意
- ④ 完成した折り紙手裏剣をリーダーに1つ用意



ルール

複数のチームでタイムを競います。

リーダーがチームメイトに**口頭のみ**で手裏剣を完成できるようにナビをしないとイケません。絶対に手を出して折り方を教えてはイケません。手を出したらゲームアウトです。見事チームメイト全員が手裏剣を折りあげればゴールです。



折り方を知らない自分が完成品を分解し、自分なりの理解を言葉だけで伝え折ってもらおう。さらに時間まで計測されることで焦りの気持ちから思い込みと省略行為を誘発し、結局完成まで20分かかってしまった。ゲームを通して学んだこととして、当然ながら中途半端な情報では人には正確に伝わらない。まずは自分がしっかり理解すること、どんな状況でも平常心を保つことが必要と反省。帰宅後に子供と一緒に手裏剣折りを練習し、寝る前にイメトレもしました。次回はバッチリ!! by 星野

折り紙手裏剣は色違いの折り紙を左右対称に折り上げ、裏表?を合体させるんですが、完成までの動作を口頭のみで伝えるのは本当に難しい!! 「これをそっちに折って」なんて言っても“伝わり”ません。上下左右、裏表、対角など具体的な単語を的確に使う必要があります。普段自分がどれだけいい加減な言葉で指示や会話をしているか気付くのはとっても有効なゲームです。他人に誤解のないよう「伝える」のは大変ですが、大事な事ですね。気付きや学びの要素が盛りだくさんのゲームです。管理職の皆様、是非体感してみてください!!



ゴ-ストライターの独り言

近頃「忙しい～」が口癖になっている社長を見かねて「さくらだより」を半分担当してしまったゴ-ストライターの伊藤です。元々マイペースな上、温かく見守ってくれる上司に恵まれているためストレスも疲れも溜まらない私はワークライフバランスが◎なんだと思います。でもワークライフバランスってどんなに環境の整った職場に勤務しようとも不満の絶えない人には縁遠い言葉なんですよ。逆に周囲から心配されるような環境に勤務していても毎日楽しくて仕方がないって人もいます。その違いって何なの?って考えた時、私の答えはプライベートや趣味が充実していてON/OFFが切り替えられる事なの?が答えに思いますが皆さんはいかがですか? 会社(職場)はあくまでも仕事をして、その対価としてお給料を頂く場です。ON/OFFのスイッチは自分の手の中にあります。疲れが溜まる前にコントロールしましょう!!